

1. 研修テーマ:

『茨城県内保健所と市町村との協働について—教育に期待すること—』

2. 研修のねらい:

保健所と保健センターで働く保健師は、設置主体は異なるものの一つの国家資格を有しており、両者の協働連携は重要事項である。地域保健法においては、保健所は市町村支援をすることが謳われているにも関わらず、連携・協働の活動が少なくなっている現状がある。また、災害発生等健康危機時は、東日本大震災においてもコロナ禍においても両者の連携の重要性があらゆるところで報告されている。本県においては、県と市町村がスクラムを組んで人材育成指針等の策定や人事交流を行っている。そのプロセスと成果を本シンポジウムで報告する。本県の取り組みが全国スタンダードの基礎への一助となることを期待するとともに、本県にとっても今後の方向性への示唆を得る機会とする。

3. プログラム

【テーマ1】茨城県の概要と市町村と保健所の協働 —県の立場から— (県保健師)

講師: 埜 清美氏 茨城県保健医療部健康推進課課長

【テーマ2】人材育成指針策定のプロセス (県保健師)

講師: 小田倉里美氏 茨城県保健医療部健康推進課

【テーマ3】市町村保健師連絡協議会と保健所の協働 (市町村保健師) —市町村の立場から—

講師: 高橋くに江氏 茨城県市町村保健師連絡協議会会長/
日立市保健福祉部健康づくり推進課課長兼統括保健師

【テーマ4】保健所と市町村の協働の方向性 (保健所長代表)

講師: 入江ふじこ氏 土浦保健所所長 (録画映像)

【質疑応答とディスカッション】保健所と市町村の協働において教育に期待すること

主催: 一般社団法人 全国保健師教育機関協議会

場所: 茨城県つくば市 (会場: 国際会議場 3階 中ホール) ※定員 先着150名

会期: 2023年10月30日 (月) 15時00分から16時30分

実行委員長: 茨城県立医療大学 山口 忍

参加資格: 全国保健師教育機関協議会の会員校教員および、保健師教育に関心のある方

研修参加費: 教員 会員校、賛助会員 無料 (※)

: 教員 非会員校 1人 5,000円

: 関係者 5,000円

: 現任保健師 無料

: 会員校大学院生 無料 (現任教員を除く)

※研修参加費は、2023年度第11回秋季教員研修会のものです。

申込期限: 登録 2023年10月16日 (月) 期日厳守

申込方法: ④申込方法はおひとりずつのオンライン登録といたします。

Step1: 参加登録

所要時間 約10分

お早めをお願いします

全保教ホームページ: 研修会ページより、オンライン事前参加登録システムにアクセスいただき、お名前・メールアドレス・ご所属などをおひとりずつご登録ください。

《☑参加受付番号、送金先などを記載した【受付完了メール】が自動配信されます》

Step2: 費用送金

【郵便振替口座】

締切10/16(月)

Step1 参加登録後に配信される【受付完了メール】に記載された、費用総額・

送金先口座・払込取扱票記入例をご参照の上、郵便局備付の払込取扱票 (青色) にて、おひとりずつ参加費用をご送金ください。

④払込取扱票記入必須項目: 参加受付番号、お名前、ご住所、お電話番号、送金額

郵便振替口座 口座番号: 00140-6-764972

口座名称: 一社) 全国保健師教育機関協議会教員研修会

④当日欠席による参加費の払い戻しは致しかねますので、予めご了承ください。

4. 問合せ先 〒456-0005 名古屋市熱田区池内町3-21 株式会社ユピア

メール zenhokyo_semi@yupia.net ④件名に「秋季教員研修会」をつけてください。